

うれしの 市議会だより

URESHINO

No.60

令和3年
1月27日発行

12月
議会の
ニュースの
とびら

令和2年第5回臨時会
条例の改正4件、損害賠償の
額の確定及び和解1件 … P2

令和2年第4回定例会
12月補正を審議した内容
…………… P3～5

議案の賛否どうなった
議案に対する賛否表
…………… P6

「議員とかたろう会」開催
PTA役員の方々との意見交換
…………… P7

市政に斬り込む
(活発な一般質問)
13名の議員がいろいろな政策を
提言 …………… P8～17

委員会レポート
総務企画、文教福祉、産業建設、
各常任委員会調査報告
…………… P18～19



新しい時代に羽ばたく新成人(嬉野市中央体育館U-Spo)

発行：嬉野市議会 編集：議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1769 番地 TEL：0954-66-9127 FAX：0954-66-2887

第5回 臨時会

令和2年第5回嬉野市議会臨時会が、11月27日に開催されました。

専決処分の報告3件、条例改正4件、損害賠償の額を定め和解することについて1件が提案され、原案どおり可決しました。

期末手当の減額決まる

国家公務員の給与改定に伴い、議員及び市長等の期末手当の支給割合を0.05月引き下げました。減額支給となりました。

職員及び会計年度任用職員の期末手当は、県人事委員会の勧告に基づき0.05月引き下げました。

国家公務員の給与改定

これにより議員16名分

に伴い、議員及び市長等

で▲29万3825円の

の期末手当の支給割合を

減額支給となりました。

0.05月引き下げました。

また、台風等による損

職員及び会計年度任用

害賠償の和解も可決しま

職員の期末手当は、県人

した。

事委員会の勧告に基づき

0.05月引き下げました。

台風被害による損害賠償

各地に被害をもたらした9月の台風9号の際に、本市が所有する看板が強風で飛ばされ、市民が所有する車2台を損傷したもので賠償額は102万93円で和解しました。

内容は、本市が所有する看板の安全管理不備の過失となりました。

各地に被害をもたらした9月の台風9号の際に、本市が所有する看板が強風で飛ばされ、市民が所有する車2台を損傷したもので賠償額は102万93円で和解しました。

内容は、本市が所有する看板の安全管理不備の過失となりました。



▲台風による強風で飛ばされた看板

第4回定例会 一般会計総額で 222億4105万円に

前年比較で36.4%の増

前年度繰越金を基金に積立

堆積土砂排除事業や

ばぶばぶ臨時特別応援給付金事業に

一般会計

8億4506万円を補正

令和2年第4回定例会 全ての議案を全会一致に 理等が主な内容となります。
は、12月4日から12月18 日より可決、18日閉会しま
日まで15日間の日程で開 した。

催されました。

(賛否表は6ページ)

提出された議案は、条 今議会では13名の議員
例の一部改正6件、指定 が一般質問を行い、執行
管理者の指定5件、補正 部に鋭い質問と政策提案
予算10件、人事案件5件、 を活発に行いました。

議会の同意等に係るもの (8ページから掲載)

2件の併せて28件の議案 今議会の補正は、新型
が提案されました。 コロナウイルス関連対策

また、12月18日には議 の補正および前年度事業
員発議1件が提案され、 の確定による償還金の処



▲井手川内神楽地区の大規模災害

その他の補正予算

結婚支援促進事業	180万円
施設型給付費	3,191万円
農林地崩壊防止事業	840万円
堆積土砂排除事業	1,800万円
災害等廃棄物処理事業	1,300万円
財政調整基金等	59,264万円

ばぶばぶ臨時特別応援 給付金事業

905万円

この事業は、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における「特別定額給付金（10万円）」の対象となられていないお子さんと子育て世帯を支援するため、乳児1人につき5万円を支給するものです。

令和3年4月1日までに生まれ、出生届または転入届で嬉野市に住民登録した乳児

【支給対象者】

給付対象乳児の父または母であり、条件を満たす保護者

【申請に必要な書類】

①嬉野市ばぶばぶ臨時特別交付金給付申請書兼請求書

②運転免許証などの本人確認書類の写し

【対象乳児】

令和2年4月28日から

対象乳児1人につき5万円



▲嬉野市独自の子育て支援対策

③振込先の口座番号が確認できる通帳の写し

【申請方法】

塩田庁舎子育て未来課窓口または嬉野庁舎福祉課窓口

【申請期限】

令和3年4月20日（火）締切

詳細は子育て未来課へお問い合わせください。

嬉野温泉新たな食文化 創出事業

450万円

この事業は、「新型コロナ禍における消費構造の変化」に着目し、今後の家庭での食文化の進展を見越して、肥前吉田焼を活用した鍋料理を「嬉野吉田鍋」と称し、地域の特産品として発信していくものです。

事業の内容は肥前吉田焼窯元組合、嬉野市商工会、嬉野温泉旅館組合、



▲地域特産として期待する「嬉野吉田鍋」

嬉野温泉料飲店組合などが連携して、肥前吉田焼による鍋と地元食材を組み合わせた鍋セットをコロナ時代の新しい生活様式に合わせた「嬉野吉田鍋」を地域の特産品として発信していくために要する経費に対して補助を行うものです。

財源は地方創生臨時交付金400万円と一般財源50万円と合わせて450万円です。

議会では、「嬉野吉田鍋」の地域特産品としての広まりを注視していきます。

嬉野温泉料飲店組合などが連携して、肥前吉田焼による鍋と地元食材を組み合わせた鍋セットをコロナ時代の新しい生活様式に合わせた「嬉野吉田鍋」を地域の特産品として発信していくために要する経費に対して補助を行うものです。

財源は地方創生臨時交付金400万円と一般財

九州新幹線西九州ルート 建設事業

6660万円

令和4年秋に開業を予定されている九州新幹線西九州ルート建設事業に係る地元負担金。事業費の負担割合は、国が2/3、県が1/3となっており、嬉野市は佐賀県との協定により県負担の1/10を負担することになっていきます。
今年度の負担金は、



▲開業を一年後に控え期待が高まる新幹線

年 度	負担金額(千円)
H20年度	134
H21年度	734
H22年度	2,134
H23年度	11,300
H24年度	12,367
H25年度	13,734
H26年度	20,500
H27年度	49,457
H28年度	34,434
H29年度	55,000
H30年度	43,272
R 元年度	48,934
R 2年度	66,596
合 計	358,596

6千660万円です。この負担金は平成20年度から令和4年度まで発生し、最終見込みは、4億4千万円となっています。各年度の負担金は、表のようになっています。このうち90%は借金です。借金の50%は交付税措置されるため、実質の負担金額は55%になり、最終的な実質負担額を2億4千万円と見込んでいます。

ひとり親世帯 臨時特別給付金

対象 児童扶養手当の受給水準にあるひとり親世帯

給付額

① 児童扶養手当受給世帯
1世帯 **5万円**
第2子以降1人につき **3万円**

② 収入が大きく減少している場合
1世帯 **5万円**

※最新の情報は、厚生労働省のページをご覧ください。

▲国の経済対策

新型コロナウイルス感染症の追加経済対策として、国の予備費での支出が閣議決定されました。既に、児童扶養手当受給世帯を対象に臨時特別給付金を支給しているところですが、非正規雇用労働者の割合が高く収入が少ないなど、経済基盤が弱く厳しい状況にある

中で、その生活実態が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、ひとり親世帯支援のため、基本給付の再支給を実施することになりました。

〔支給対象者〕
① 令和2年6月分の児童扶養手当受給者
② 公的年金受給者

1568万円

- ③ 家計急変者
- 〔給付額〕**
・ 一世帯当たり5万円、第二子以降1人につき3万円
- 〔支給手続き〕**
12月11日時点で既に1回目の基本支給を受けている、または申請している方
● 再支給分は申請不要
● 令和2年12月に支給12月11日以降に基本給付の申請を行う方
● 公的年金等の受給により令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けていない方
● 家計が急変するなど収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準の方
● 令和2年7月以降の児童扶養手当受給者
- ※詳細については、子育て未来課にお尋ねください。

令和2年12月定例会議案賛否表（主なもの）

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		結果	表決数	山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也
議案第85号	嬉野市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	嬉野市営浄化槽条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88~92号	指定管理者の指定について(嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯っくら」と)他4件	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	令和2年度嬉野市一般会計補正予算(第10号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	嬉野市農業委員会の委員の認定農業者過半要件の例外規定適用について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103~105号、109号	嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任について 4件	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	業務契約の締結について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	嬉野市教育委員会教育長の任命について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否表

3月定例会 会期日程(案)																					
19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	3月1日	28日	27日	2月26日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
討論・採決・閉会	休会	一般質問	一般質問	一般質問	休会	休会	議案質疑	議案質疑	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	休会	休会	開会

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

一ノ瀬真氏
嬉野町大字下野

中嶋 敦氏
嬉野町大字下宿

平野初巳氏
塩田町大字久間

川原和彦氏
塩田町大字馬場下

固定資産評価審査委員会は、市長が決定した固定資産の価格が総務省の示している固定資産評価基準に基づき適正に決定されているかどうかを審査する機関です。

今回、4名の委員の任期が令和3年2月16日で満了となるため、12月議会において委員選任の議案が提出され全会一致で同意しました。

13議員が質問

森田 明彦 議員 (P8)

諸井 義人 議員 (P9)

芦塚 典子 議員 (P10)

川内 聖二 議員 (P10)

山下 芳郎 議員 (P11)

梶原 睦也 議員 (P12)

山口 虎太郎 議員 (P12)

諸上 栄大 議員 (P13)

宮崎 一徳 議員 (P14)

山口 忠孝 議員 (P14)

辻 浩一 議員 (P15)

増田 朝子 議員 (P16)

山口 卓也 議員 (P17)

議員とかがたろう会を開催

PTA役員の皆様と対話

主な意見
休校の時、共働き世帯やひとり親世帯では、子どもだけで留守番や食事をとることになり不安であった。
今後、休校となる場合の学習対策はどうなっているのか。
運動会の短縮や修学旅行の中止等で最終学年の子どもたちは特に残念そうだった。
通学路の危険箇所の点検と改善、そして不審者対策など子どもの安全対策を強化してほしい。



▲かがたろう会塩田会場の様子

11月11日にPTA役員
の皆さんと語ろう会を開
催しました。コロナ禍に
関する意見や子どもたち
の現況、その他の市・市
議会に対する意見を幅広

く伺いました。
今年度は感染症対策に
加え学校休業や学校行事
の縮小などにより、家庭
におかれては異例の対応
を余儀なくされ不安を感

じられたことと思います。
頂いた質問や要望は執行
部に問い合わせるなどし、
次回3月議会の議会だよ
りで改めて報告させてい
たきます。

閉会中の委員会審査（調査）付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項 及び議長との諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会ICT化に関する調査研究	議会ICT化に関する特別委員会	調査終了まで
嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究	嬉野市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

斬り込む



▲足もとから人にやさしく



市道本通り線の傷みがひどい 補修等の計画は

森田明彦議員

答 重要な道路であり地元や国、県と協議を進めたい

森田 以前から水はねや車両通行時に砂利が飛ぶなどの苦情が多い。観光のお客様も多く利用される場所でもあり、早急な対策が必要と思われるが計画はあるか。

森田 防災広場として整備されたが、南上側および式浪側からの進入道路の一部が狭く離合しにくい状況だ。拡幅が望まれるがどうか。また、河川と並行する県道については県への要望を願う。

対応として、その事業化に向けて今年度中に目途をつけたいと考える。県道については課題として上げていく。

森田 新型コロナウイルス感染症による学校休業対策の一つとして、週5日での事業が行われた。結果として保護者からは大変好評であった。今後も週5日での事業継続ができないか。

市長 嬉野市の顔とも思う重要な道路である。国事業の活用も見据え、綿密に地元や国、県と協議を進めたいと考える。

市長 課題として我々も認識している。早急な

森田 公営住宅長寿命化計画報告書で、耐用年限が超過する建物が46%である。敷地の有効活用もうたわれているが、統合も含めた計画等があるのか伺う。

森田 臨時的な措置であった事は理解するが、市内小中学校PTA役員の方と「かたろう会」での意見だが市長の見解は。

市長 指摘のとおり、早期の対策が必要な状況であるが、ランニングコーストを含め、安易な改築や建て替えには慎重になる環境下にもある。公営住宅だけでなく、民間活用も含めた重層的な住宅政策を進めていく。

市長 現在は通常授業を行っており、週3日で実施をしていきたい。

市長 好評をいただいた事は率直に喜びたい。そういったニーズも勘案しながら今後の事業展開を考えていきたい。

市長 好評をいただいた事は率直に喜びたい。そういったニーズも勘案しながら今後の事業展開を考えていきたい。

市政に



諸井 報告から3ヶ月経過したが、どう対処しているのか。

市長 市民の利便性や率直な意見を伺いながら判断する。

諸井 合併協議での基本的協議項目をどう捉えているか。

企画政策課長 市町村合併において最低限、定めておくべき重要な位置づけである。

諸井 新市の事務所は塩田町役場とあるが。

副市長 社会情勢や事情に応じて変更することができると考えている。

諸井 塩田庁舎は築26年経過しているが、耐用年数は何年か。

企画政策課長 塩田庁舎は鉄筋コンクリート造りなので50年ととなっている。

諸井 長寿命化対策をしていけば70年ぐらい

市庁舎について

諸井義人議員

答 総合的に判断しながら結論を下したい

まで伸びると考えている。今後、市民に対しての説明はどうするか。

市長 基本構想に向かう前に様々な多様な声に耳を傾けていく。

諸井 今後のスケジュールはどのように計画しているか。

総合戦略推進部長 基本構想策定後すぐに住民へ説明を行う。

諸井 住民の利便性等を考慮し検討をして、十分な説明が必要では。

市長 住民の感情に寄り添いながら最善の結論を出していく。幅広く視野を広げ、多くの人の意見も伺いながら最終決断をする。

学校教育について

諸井 市内の学校において感染者が出た場合はどう対処するか。



▲市民の理解を得る市庁舎検討を

教育長 県教委に伝え、保健福祉事務所と県の対策本部と連携し、対応について市の対策本部で決定する。感染者が出たら、原則臨時休業の措置をとる。

諸井 運動会が涼しくなっていって行われたが、熱

中症対策も講じなくて良かったと意見があるがどう捉えているか。

教育長 気候的に涼しく熱中症の心配がなかった。今後も学校が主体的に判断して計画するよう指示している。

路線バス以外の交通は

芦塚典子 議員

答 事業者との協議がいる

うことで取り組んでいる。
芦塚 上久間線、春日線、下吉田線、不動山・牛の岳エリア、大野原線は路線バス等があるが、鍋野や美野・畦川内、南部地区、冬野地区、この地区の交通手段をどうするのか。

新幹線・まちづくり課長 もともと公共交通としては路線バスの持続可能な交通体系を考えている。

芦塚 路線バス以外の地区に、困っている高齢者や障がい者、通学する子どもたちがいる。市民の声を聴き、早急に解決すべきと思うがいかがか。

新幹線・まちづくり課長 デマンドタクシーの運行になると事業者との協議がいる。運行は厳しい。

学校のコロナ対策は

芦塚 児童に対するコロナ対策計画があるか。

教育長 新型インフルエンザ等対策行動計画に基づいて対応している。

芦塚 コロナ感染症に対する差別や誹謗中傷に対する条例が必要ではないか。

市長 コロナ対策の行

芦塚 交通手段のない地域の困っている人たちが話し合いをし、地域交通の改善ができないか。
新幹線・まちづくり課長 現在、公共交通としては路線バスを維持したいとい



▲自宅から利用できるデマンドタクシー

動計画策定においては、そのような議論が必要と判断している。

コロナ後の財政政策

芦塚 コロナ後は大幅な減収が見込まれるが、臨時財政対策債に頼られるのかうかがう。

財政課長 不足分は臨時財政対策債を当てたい。

芦塚 大型企業等の誘致や雇用拡大での税収増は難しい。今後は卵を分散して育てるといふ「インキュベーション室」を作り、経営技術や資金を

投資することも必要ではないか。

市長 コロナで価値観が変わった中で、未来先行投資も必要であるし、この機会に新しい事業を立ち上げたいという機運も高まっている。商工会と連携しながら努力したい。

その他の質問

学校のGIGAスクール構想

劣化した市道の整備は

川内聖一 議員

答 計画的に行なっていく



川内 市内の市道の維持点検パトロールはどのような形で行なわれているか。

建設・農林整備課長 業務委託として道路工事にパトロールと軽微な補修を行って貰い、大きなものに関しては報告を受けている。

川内 水道管等の工事をされ道路が継ぎはぎ状態になり、段差ができて危険性がある。最終的には舗装全体を仕上げるのか。

環境下水道課長 原型復旧の原則があり、計画的に舗装をやり変える。

川内 現在、市道永尾線が地すべりの調査のため通行止めになっている。そのため、下吉田から羽白越に抜ける道路の交通量が増えているが、道路の痛みが激しく危険なので整備等はできないか。

建設・農林整備課長 一度にはできないが、補修工事計画的に行なうように考えている。

川内 それと、現在迂回路になっている市道広瀬線の道路も段差があり危険なので同じように整備等はできないか。

建設・農林整備課長 できる範囲で補修を進めて行きたい。

川内 これから凍結するような市道には、融雪剤を設置するが、それ以外の市道の対応は。
建設・農林整備課長 全ての対応は厳しいので、地



生 活困窮者に細かな対応を

山下芳郎 議員

答 よろず相談で対応する

があったが、内定者の都合で辞退された。再度募集し、今月中に面接して、1名を決定する。

山下 ホームページの活動内容を見ると市役所の補助業務であるので、別枠で地域活動の要員が設けられないか。また、受皿を地域団体で対応する考えはないか。

企画政策課長 予算要求が1名であり、企画政策課内での活動となる。

山下 空き家バンクの状況はどうか。

企画政策課長 ホームページに15件を掲載中。空家は毎年伸びている。

山下 空き家バンクへつなげる為、地域に詳しい区長さん等から情報提供できる組織ができないか。

行政経営部長 地域の皆様の協力を得て進めたい。

ある医療機関の充実、子どもの医療費無料、新幹線開通、学校の教室の冷暖房化等をPRしてはどうか。

総合戦略推進部長 内部で検討する。

デジタル化の進捗を聞く

山下 電子決裁システムはどうなっているか。

市長 前向きに取り組み庁舎全体で議論する。

新幹線駅周辺整備を聞く

山下 市道築城大橋線の四叉路は危険であり、拡幅計画は進んでいるのか。

新幹線・まちづくり課長 都市計画は決定しているが、事業化ができていない。

建設部長 今後も県へ要望し、つなげる。

元の方が融雪剤をふって貰えれば、できる範囲で配付する。

市営浄化槽のPF1化

川内 市営浄化槽にPF1方式を検討する理由は。

環境下水道課長 本市においては増加傾向だが、事業開始から10年程度で減少する傾向が他の市町で見受けられるので、PF1方式に移行し、民間

の営業能力やノウハウを活用し設置基数の増加と維持管理を図る。

川内 PF1事業で市民に対してのメリットは。

環境下水道課長 金銭的なメリットは出してはいないが、直営では工事に1ヶ月程要するが、PF1事業だと10日間程は短縮できる。

川内 導入の予定は。 **環境下水道課長** 着手できるかを検討している。



▲細かい目線で支援を

山下 コロナ対応の財源である地方創生臨時交付金5億2千3百万円の残額と追加配分はあるのか。

行政経営部長 この議会までで全額を充当する。追加配分は国の決定次第であり、財政調整基金の繰入れも考える。

山下 コロナの長期化で厳しい状況が続く、自宅待機等生活困窮者が増

えているが、支援策を次年度も実施するのか。

産業振興部長 家賃の補助等よろず相談所を市役所に設けていて次年度も継続する。

地域活性化をどうするか

山下 地域おこし協力隊の募集状況を聞く。

市長 当初41名の応募

山下 嬉野市の特徴で



▲安全向上のため早急な対応を

S DGs に市民・行政で取り組むべきでは

梶原睦也 議員

答 政策に関連付け推進する



梶原 SDGsとは2015年に国連において「誰一人取り残さない」との理念のもと2030年までの持続可能な開発目標を定めたものである。

市長 折しも、今年のコロナ禍において、社会の持続可能性がこれほど強く問われたことはSDGsが出されて以来なかったのではないかとSDGsの理念を政策のあらゆる目標の中に関連付けながら推進していく。

梶原 各担当部長にSDGsに対する考え・意気込みを伺う。

行政経営部長 人々が安心して生活できる街づくりを目指すためにも防災面で取り組んでいく。

総合戦略推進部長 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」審議会等への女性参画40%を目標に取り



▲誰一人取り残さない

り組む。

市民福祉部長 「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念が何よりも大事であり、具体的には目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」に取り組んでいく。

産業振興部長 農業政策において目標2「飢餓をゼロに」に関し食糧の安定供給が目標である。

建設部長 SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任、つかう責任」、15「陸の豊かさを守る

医療センター跡地 等価交換の進捗は

山口虎太郎 議員

答 市土地開発公社と交換契約が進んでいる



人々2000人の人が働かれ、人口減少を食い止めることを考えるが。

市長 国の使い道が無いと判断したから土地の交換契約の流れとなった。

山口 国の各省庁には相談されたか。

市長 そういった要望もしくは提案は行なっていない。

災害対策について

山口 避難所設置時に地域で、区や地域ボランティア支援の申合せの構築はできているか。

総務・防災課長 避難を支援す



▲国の活用で人口減少に歯止めを



▲認知症に対する正しい理解と知識の普及を



実践につなげていく 認知症施策の展開を

答 地域力をしっかりとつくり総力を挙げて進みたい

諸上栄大議員

諸上 認知症サポーターとは。
福祉課長 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対し、できる範囲で手助けをする人である。
諸上 若い世代のサポーター養成が課題と思ふが。
市民福祉部長 在学中に正しい理解と知識を持ってもらうことが大事

で、嬉野高校生が講師となり轟小と塩田小でサポーター養成講座を行った。
諸上 サポーターになった後の活動はあるのか。
福祉課長 啓発活動などに取り組んで欲しいと考えているが現状では特がない。
諸上 認知症カフェの設置状況はどうか。
福祉課長 市内の医療

機関1カ所でのみ開催されている状況である。
諸上 認知症の方やその家族の交流の場でもある認知症カフェの増設が必要と考えるがどうか。
福祉課長 増やしたいが今年度中は未定。来年度以降に増やしていく計画である。
諸上 認知症サポーターが、認知症カフェ等の活動支援を行う仕掛けづくりができるか。カフェが増えれば当事者の利用はもとより、介護者同士の交流や介護者の息抜き場になると思ふがいかがか。
市民福祉部長 来年度を目指し介護予防と保健事業の一体化といった

取り組みの検討を行う中、認知症の方々の居場所づくりについて議論していく事も非常に大事だと考えている。
諸上 サポーターが養成講座で学んだ事の実践として、声かけ訓練や見守り訓練等、見守り体制の強化につながるような施策をつくる必要があると思ふがどうか。
市長 みんなで関わっていく地域力を、しっかりと作っていく事が大きな課題になってくると思ふ。総力を挙げて福祉のまちづくりを進めたい。
その他の質問 インフルエンザ予防接種の助成拡大について

「」に取り組む。
教育部長 SDGsはすべての人に公平で質の高い教育を提供し生涯学習の機会が求められている。教育方針を定めた「嬉野市の教育」に盛り込み計画的に行っている。
梶原 教育長の認識は。
教育部長 2020年の学習指導要綱にはSDGsが盛り込まれており、

各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間で取り組んでいる。
梶原 SDGsを市民に浸透させるために市報等で情報提供すべきでは。
広報・広聴課長 他の市町を参考にしながら研究する。
CO2排出実質ゼロ表明について

梶原 温暖化対策の一環で二酸化炭素ゼロ宣言をする自治体が増加する中、本市ではどのように取り組むのか。
市長 全課において今後宣言に向けて課題の洗い出しを行っていききたい。
その他の質問 押印廃止について

山口 地場産業吉田焼で小中高生へマイ茶碗、急須の支援はできないか。
市長 吉田焼の支援として鍋の事業、毎月陶器市に積極的に協力していく。

山口 農林水産省は1兆円超えの補正予算がでたが、農家の生活が回る施策はあるか。
市長 農林水産省の活用できるメニューで適切な支援を展開していく。
山口 嬉野版茶業会議所の設置はされるのか。

市長 以前に提案していただいたが、新組織の設立は難しい状況。県も関わったグローバル産地作りの協議会と連携をとって、茶業振興に努めたい。

令和三年度の財政見通しは

宮崎一徳 議員

答 市民税収入の落ち込みが予想される



宮崎 嬉野市における新年度の行政運営は。

市長 個人、法人ともに市民税収入の落ち込みが予想され、国や県の補助事業等も効果的に活用

するとともに、自主財源確保のためにふるさと納税等も嬉野市に呼び込めるよう努力する。

宮崎 新年度の基本的行政運営の考えは。

市長 行政、防災の

充実のためにもICTの推進、ハートフルな面は、巣ごもり生活に彩りを与える給付金など状況に応じた臨機応変な財政運営に心がける。

宮崎 新年度の予算に力を入れるのは。

市長 メッセージ性の高い取り組みが必要。第一は防災、安全・安心のまちづくり、また、人にやさしいまちづくりに取り組む。

食料自給率について

宮崎 食料自給率についての認識は。

市長 食料自給率の低迷は、食料の安全保障上、国そのものを脆弱にしているまいかねない大きな問題である。

宮崎 耕作放棄地の縮小が食料自給率の向上になるのでは。



山口 開業イベントも

大切だが、駅利用促進の施策もそろそろ打ち出しているのでは。

市長 車で乗り付け鉄道を利用するというパークアンドライドを地元のみならず周辺の地域とも連携したい。

山口 駅前の無料駐車場も考えていいと思う。また福岡や長崎等への通勤・通学の補助等考えてもいいのでは。

市長 近隣市町の事例検証や市民の意向を踏まえ、制度設計に向けて検討を加えていきたい。

山口 仕事は都市部の福岡や長崎で、住居は嬉野という移住促進や進出企業への都市部からの従業員確保など考えられるのでは。

市長 企業誘致等に新幹線開業効果を発揮できるよう努力したい。

新

幹線嬉野温泉駅の利用促進に向けた施策は

山口忠孝 議員

答 地元や周辺地域との連携も含め考えてみたい

地域別の避難指示を

山口 全市避難指示とは、全市民が避難所に避難せよということか。

市長 避難指示イコール避難所に行けではない。垂直避難や自主防災組織の指示での公民館、親戚や近所の知り合い、旅館などの有料避難も考えられる。公設の避難所の在り方も絶えず検討していきたいながら情報発信していきたい。

山口 川の氾濫はまず塩田地区の該当地区に出し、土砂災害は山手の地区を優先的に出すようにすべきではないか。

市長 避難指示を地域別に区切るのもあり得るが、危機管理の鉄則として最悪を想定している。情報収集をしっかりしながら判断していく。

山口 避難所として学校教室の利用も考えられるのか。



▲市民が利用しやすい駅前開発を

市長 現場に応じた避難所運営が鉄則であり、それも有り得る。

教育長 今回、体育館が密の時は教室を開放して柔軟な対応をしている。

A1(人工知能)やRPA(業務自動化)はみる。

山口 職員や会計年度の任用職員の雇用が減るのでは。

市長 将来、今の半分の職員で行政サービスを維持しなければならぬという対応を迫られている。



▲健全な市財政運営を

市長 耕作放棄地を野菜生産等に切り替えていくことが食料自給率の向上につながると思う。

宮崎 農業後継者や担い手など、さらに農業政策に力を注ぐ必要があるのでは。

市長 農業の担い手を育成していくことが耕作放棄地を少なくし、食料自給率を上げていくと考えている。

感染急拡大時の新型コロナウイルス感染症対策は

策は

宮崎 医療機関との連携・連絡体制は。

健康づくり課長 医師会とは各種事業において情報交換等を行いながら連携を図っている。

宮崎 高齢者への対策は。

福祉課長 高齢者のひとり暮らしの方には、地域の民生委員にお願いしている。コロナ禍においては電話等の対応をしている。



辻 駅を作るだけでは人は来ない。嬉野の魅力を作っていくかなければならないと思うがいかがか。

市長 新幹線開通イコールバラ色の未来ではないと認識している。

西九州観光のハブを目指す気概で観光のメッカとして輝けるように努力をしたい。

新たな観光商品はどうする

辻 小さなものの掘り起こしによっては観光のコンテンツになる。地元の人しか知らないところを掘り出すことも必要だと思うがいかがか。

市長 何がいきなり反響を呼ぶかわからない。そういった観点から、地域の足元を見直すことも開業に合わせてやってい

観

光の仕掛けはどうする

辻 浩一 議員

答 専門の部署に人材派遣を要請している

きたい。

食に関する取り組みは

辻 茶時^{ちやどき}でやっている高級志向も必要だが、B級グルメの開発も必要ではないかと思う。そういった開発は行っているのか。

観光商工課長 そういう話は聞いていない。

体験観光の仕掛けは

辻 SNSを使って草取り大会といった人が集まっていた。農業体験として田植えや稲刈りは有るが、他にも有るのではないか。例えば麦踏をじかに足でやって、その意味を体験したり、また最先端のスマート農業に触れたりして農業体験につなげることが出来るのではないか。



▲観光の仕掛けを急げ

産業振興部長 私たちが思いもしないようなコンテンツが観光に結び付くことについても、研究してみたい。

辻 DMOの中で農業体験や観光につなげることも必要だ。そして、すべての産業が収入を得られるような形を目指すべきだと思うがいかがか。

市長 DMOとは、自ら自立して観光を企画し、稼げる観光地を目指す組織であり、嬉野温泉観光協会が核となって自立して稼いでいく、そういった旅行商品の開発をしていくことも一つの要素だ。農業も含めた体験型の商品開発も任務になってくると思うので、支援をして行きたい。

原子力について学ぶ日に

増田朝子 議員

答 考えることは重要だ



増田 玄海原発の有事の際、嬉野市は伊万里市民約一万人を受け入れることになっている。原子力防災については日頃から周知が必要と思われるが、どのようにしている

か。

総務・防災課長

行政

区長へ説明とお願いをしている。各家庭には「原子力防災のてびき」を配布しているが、今のところ周知が十分とは言えない。

増田

原子力について学び考える一日として、県主催の訓練の様子を「うれしのほっとステーション」等で放映してはどうか。

広報・広聴課長 番組の中で紹介できるか、調整させていただきたい。

増田

「原子力防災のてびき」も毎年各家庭に配布されているが、無駄にならないよう、市民に見てもらえるような周知を望む。原子力防災に関しての市長の考えを伺う。

市長

一年に一回の訓練の時に考えることは重要と思うし、それが生き残るものになるよう努力を続けたい。

広聴の充実を

増田 広聴としての取り組みを伺う。



▲原子力防災を身近に

市長

これまでに各行政区での語ろう会、総会等での意見聴取、各業界団体とのワークショップなどをした。また、市内7か所に「のほほんボックス」の設置、ウェブでの意見もいただいている。

増田

鳥栖市では、市民の意見について、改善できた点を写真入りで公開している。市民にとっても励みになるので、嬉野市でも取り組んでみてはどうか。

広報・広聴課長

研究したい。

増田

これまで団体との意見交換はなされているが、一般市民を対象に5人以上のテーマを決めての手上げ方式、女性だけや移住された方など市長から「この指とまれ」式のかたろう会の開催を

市長

検討していきたい。

その他の質問

- ・会議の公開について
- ・観光周遊キャンペーンについて

陳情

塩田庁舎(本庁)に関する陳情書

塩田地区行政區長代表

原町区長 森田 徹

他39名

次年度看護学校運営費市町補助金要望について

鹿島藤津地区医師会立

看護高等専修学校

校長 谷口 親房

精神障がい者医療費助成についての陳情

佐賀県精神保健福祉連合会

会長 松田 孝



保育所等の入所手続きについて

山口 現在、申込書類は窓口持込となっていると聞くが、郵送での提出はできないか。平日に休まなくてはならず不便と聞く。

子育て未来課長 窓口に来ていただいているというのが現状であるが、郵送が駄目ということはない。

山口 コロナ禍ということで、郵送でも受け付ける旨をホームページで周知している自治体もある。市民目線でもって案内すべきではないか。

子育て未来課長 文言等について、今後明記していきたい。今年11月から証明以外の申請書について押印不用としたり利便性の向上を図っているので、そういったきめ細やかなサービス向上に今後努めていきたい。

保

育所等の入所申込手続きで郵送対応ができないか

答 可能である

山口卓也議員

災害対策について

山口 市道永尾線（広瀬橋付近）の地滑りによる通行止め箇所の復旧スケジュールは。

建設・農林整備課長 現段階では未定である。近年稀に見る規模の地滑りである。11月中旬から地滑りに係る調査機器の設置が完了し、随時計測中である。この計測結果に基づき整備工法などが決まり復旧計画・スケジュールがわかってくる。

山口 迂回路（三路線）は交通量が増えており交通事故の危険もある。安全対策が必要だと思っ

建設・農林整備課長 迂回路となる道路は非常に狭いと認識している。計画を立てており、間もなく一部着手できると考えている。

山口 嬉野小校区コミュニティで市民災害ボ



▲市民目線のきめ細やかな窓口サービス

ランティアが立ち上げられた。災害発生後の人手がいる土砂・流木等の除去作業などを想定されている。市役所は情報の提供等で幅広く連携・協力していくべきだと考えるが。

市長 地域コミュニティ単位で自主防災組織として避難訓練等を行っ

ていただいております。こうした活動を支援することが大事だと思っております。

嬉野市議会から意見を国へ

公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書

地域における公共交通は、住民にとって必要不可欠な生活基盤であり、とりわけ路線バスは、移動手段を持たない高齢者の買い物や通院、中学生や高校生の通学などに利用される重要な交通機関である。

また、地方は自動車に依存した社会構造となっており、今後、急速な高齢化によって運転免許証の返納者が増加すれば、公共交通機関の必要性はますます大きくなると思われる。

一方、人口減少や自家用車の利用などにより、近年、路線バス利用者は大幅に減少し、交通事業者の路線バス運行事業は赤字が続いており、バス路線を維持するためには国や地方自治体の財政支援が欠かせないものとなっている。

このため、関係自治体にとっては、多額の補助金を支出することが大き

な負担となっており、国による財政支援の拡充がなければ、公共交通としてのバス路線の維持は困難な状況に陥っている。

さらに、一般の新型コロナウイルスウィルス感染症拡大によって公共交通機関の利用者は激減し、交通事業者の収益は著しく低下しており、路線バス運行のための企業努力も限界に達している。

このような中、地域における公共交通がその機能を十分に発揮し、真に活力ある地域・経済社会をつくるためにも公共交通に対する財政支援の拡充が求められている。

よって、国においては、地方自治体を取り組む地域公共交通の維持にかかる補助事業について、補助要件を緩和するなどの財政支援措置を大幅に拡充されるよう強く要望する。

レポート

佐賀市地域コミュニティサイト「つながるさがし」について

総務企画常任委員会



▲佐賀市役所で研修を受ける委員会

調査目的

人口減少における地域コミュニティの在り方について、佐賀市の佐賀市地域コミュニティサイト「つながるさがし」について調査研究を行った。

委員会の意見

「つながるさがし」は市民参加型の地域情報サイトであり、各コミュニティ

の取り組みや地域の行事予定、公民館の情報等が掲載されている。地域の情報を得る手段が回覧板ぐらいで情報格差が危惧される地域が多い。「つながるさがし」はスピーディーに手軽に市内全域の詳細な情報を手で地域の活性化に繋がるのではと感じた。

本市においても地域の情報発信の在り方について今一度精査し、市民の安心安全、福祉向上、ひいては観光まで繋げていけるような地域コミュニティを目指すべきである。

佐賀市松梅地区 デマンドタクシー について

調査目的

中山間地域における公共交通のあり方が重要視されている中、路線バス廃止後の松梅地区の取り組みについて調査研究を行った。

委員会の意見

松梅地区デマンドタクシーは国庫補助活用事業であるが、循環バス運行時に比べ大幅に市の負担額も軽減され、地域のみならず利用し維持確保していくという覚悟で成り

文化財について

文教福祉常任委員会



▲池田家住宅(美野地区)で説明を受ける委員会

立っていると感じた。

本市においても、地域の方々がしっかり話し合いを重ね、その地域の地形や生活に合った地域交通の形を見出し、市と協議しながら共に作り上げていくことが重要であると考えます。

委員会

調査目的

平成27年度から公共下水道事業計画区域及び農業集落排水処理区域を除く市内全域で、市営浄化槽事業を直営方式で実施している。今後効率的かつ効果的な整備を促進するためにPFI方式(民間の資金や技術・経営方式

浄化槽事業について 産業建設常任委員会

を活用して公共工事を行う)を導入する予定である。そこで、早くから浄化槽事業にPFI方式を取り入れている唐津市の調査研究を行った。

委員会の意見

唐津市では、当初の目標数値を正確に打ち出せ



▲唐津市浄水センターで説明を受ける委員会

なかつたことや高齢化世帯が増加したことなどで第一期事業の目標設置数を達成できなかったと説明された。当市でも年間80基を設置目標とされているが、余裕を持って目標数値を設定すべきと考える。

また、PFI導入時のデメリットとして専門的な知識を持つ職員が育ちにくいと危惧されていた。職員数の削減には繋がるが、事業に対応できる職員を育成するために技術者育成が必要であると考ええる。

PFIを構成する事業者の選定については、市内業者の公平性も必要だが技術差もあると思うので十分な説明と理解の上での選定が求められる。

唐津市では、普及促進のため説明会や戸別訪問を現在も実施されている。水洗化の重要性を市民に理解してもらう努力が必要である。

調査目的

市内には、国指定文化財8件、県指定文化財4件、市指定文化財42件、この他に埋蔵文化財包蔵地(遺跡)が233か所ある。これら貴重な文化財の現状と台風被害について調査を行った。

委員会の意見

今回は限られた時間の中で、国指定の池田家住宅、西岡家住宅、嬉野の大チャノキ、県指定の八天神社の眼鏡橋、市指定の納戸料の百年桜・春日大明神の大イチョウの計6か所の調査を行った。

池田家においては当主の方がお住まいで管理されているが、文化財指定のために現状変更はできない制約がある。維持管理の面で行政として出来ることがないか十分に研究、検討する必要があると考える。

納戸料の百年桜は先の台風で一本の大きな枝が折れ被害が出ているが、

現在復旧工事に向け準備中である。

春日大明神の大イチョウも先の台風で枝折れが見られるが、高所であることと樹木医の診断で軽微とされ特に処置は行わない。

嬉野の大チャノキも台風被害を受け現在復旧工事が行われている。このように自然の中にあるものは、台風など自然災害に対し保護にも限界がある事を知らしめた。

今後の対策については、専門家の知見を得て最善の措置を行い十分に検討していくべきである。

人事

嬉野市教育委員会教育長の任期が令和3年2月16日で任期満了となるため、任命には議会の同意が必要で、全会一致で同意しました。
新しい任期は令和6年2月16日まで。

杉崎士郎氏（76才）
嬉野町大字下宿



嬉野市教育委員会 教育長任命に同意

ときの人

SSP杯柔道90キロ級 個人戦優勝



藤川竜翔君（佐賀北高校三年・嬉野小卒）

昨年1月中旬に全国高校柔道選手権大会の県予選で、佐賀北高校柔道部は団体戦で優勝し、個人戦の90キロ級では、同校の竜翔君が準優勝という好成績を収め、全国大会の出場が決定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国大会が中止になりました。
しかし、インターハイの代替大会となる佐賀県のSSP杯（佐賀県高等学校スポーツ大会）で、柔道個人戦90キロ級で見事優勝をされた嬉野町出身の藤川竜翔君に取材をしました。

問：柔道を始めたきっかけは？
竜翔君：家族に勧められて6歳から始めました。
問：今回、全国大会が中止になり、率直な気持ちには？
竜翔君：全国大会も、総体も中止になりとても残念な気持ちでした。
しかし、次の目標がもっと深く定まりました。
問：優勝した時の感想を？
竜翔君：総体もなくなり全国大会での目標は、達成することができませんでしたが、SSP杯を開催して頂いたもので、そこに向けて練習した結果、優勝ができたのでとても嬉しかったです。
そして、これまで支えてくださった方々に恩返しができて良かったです。

きて良かったと思いましたが、柔道を学び辛かったことは？
竜翔君：辛いと思ったことはありません。柔道が好きで夢中になり、ただ一生懸命でした。



問：良かったことは？
竜翔君：物事に対して逃げずに、立ち向かうことを学び、自分なりにできるようになりました。

問：将来の夢は？
竜翔君：小さな頃から、伯父さん二人のようになりたくて、佐賀県警察に入るのが夢です。

問：ひと言、思いを？
竜翔君：祖父から、「川越して宿をとれ」と教えられ、いつも執念・我慢そして感謝の心を抱き、これからも頑張っていきたいです。

問：最後に嬉野市にやって貰いたいことは？
竜翔君：とても自然豊かな住みやすい故郷なので、これからも自然を大事にしたまちづくりを目指して貰いたいです。

取材を終えて：新型コロナウイルス感染症の影響で、全国大会が中止となり残念でしたが、その逆境にも負けずSSP杯で個人優勝をされた藤川竜翔君に思いを語って頂きました。

そして、この取材は、9月下旬でしたが、彼はその後行なわれた佐賀県警察の厳しい採用試験に見事合格されました。
本当におめでとうございました。これからも自分の夢に向かって頑張ってください。

コラム

コロナ禍の中でも好景気の業種をご存じだろうか？▼人の動きは自粛を強いられ市民生活や経済活動は悲鳴を上げている。その一方で、動かなくても仕事ができるテレワークやオンラインで用事を済ませることが重宝がられ、押印廃止が声高に叫ばれている。ペーパーレス、キャッシュレス、ハンコレス…。紙類は資源の無駄遣い、現金は時代遅れ、判子は無駄と悪者扱いだ▼もうお分かりだろうか。IT関連産業はコロナ禍を追い風にして盛況なのだ▼人類が長い年月をかけて築いてきた慣習や制度、道徳等には、先人たちの叡智が堆積している。合理性や利便さだけを追求していく社会の危うさを憂慮する。
(忠孝)

議会広報編集特別委員会

委員長	森田明彦
副委員長	諸井義人
委員	山口政人
	山口忠孝
	川内聖一
	宮崎一徳
	山口卓也